

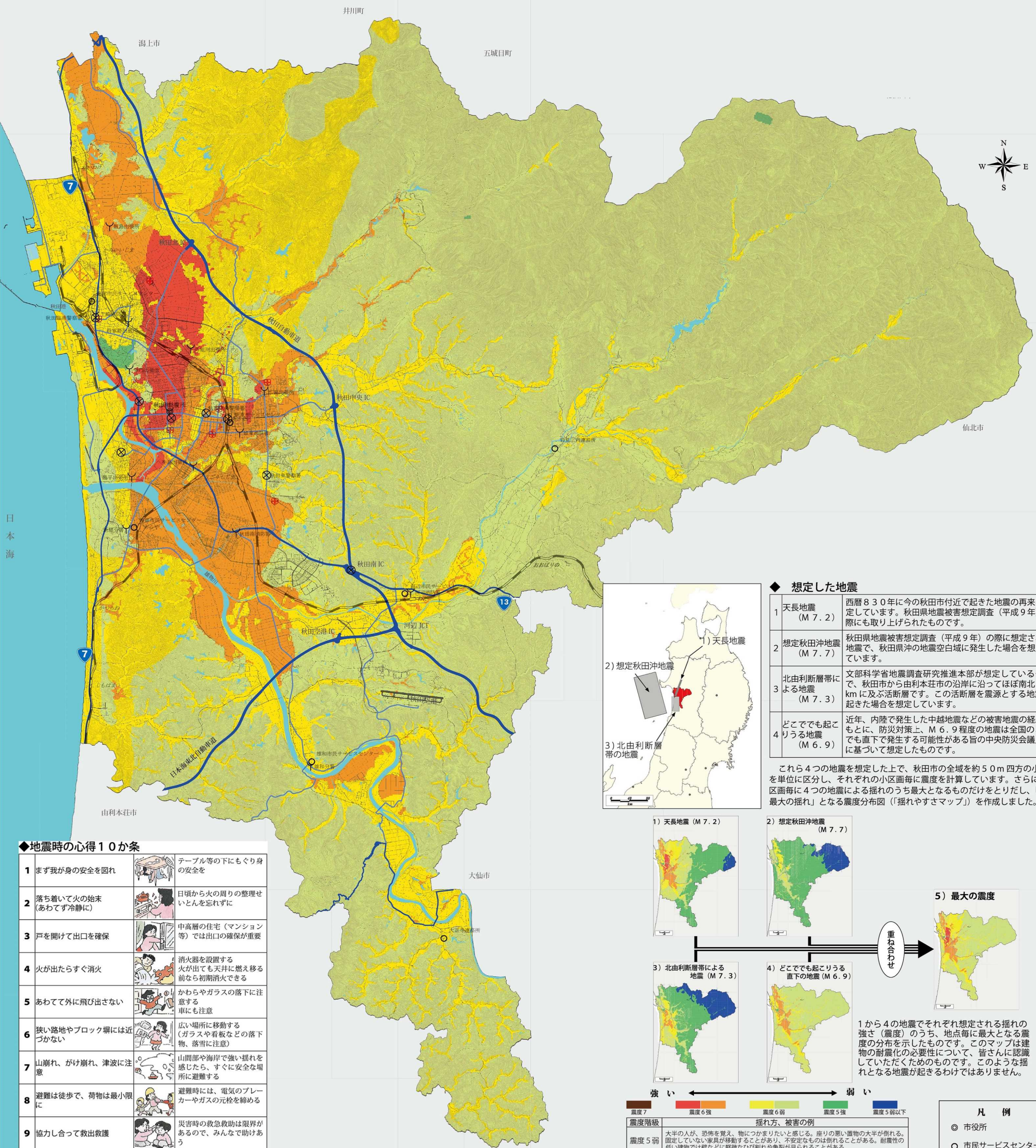
秋田市地震防災マップ

揺れやすさマップ(最大の震度分布図)

このマップは、秋田市耐震改修促進計画に基づき、地震時の被害(建物や人身の被害)を軽減するために、秋田市内で想定される最大の揺れ(震度)を示す地図として作成したものです。

強い揺れに見舞われた時、耐震性の低い建物では建物が全半壊するなどの被害やそれによる人的な被害が発生すると言われています。また、強い揺れにより建物内の家具などの転倒やガラスの飛散などで、思いもかけずケガをするなどの被害も起きています。

市民の皆様がお住まいの家屋などを、耐震診断や耐震改修を行って、自らの生命と財産を守る地震に強い家屋とする際に、このマップをぜひ参考にしてください。



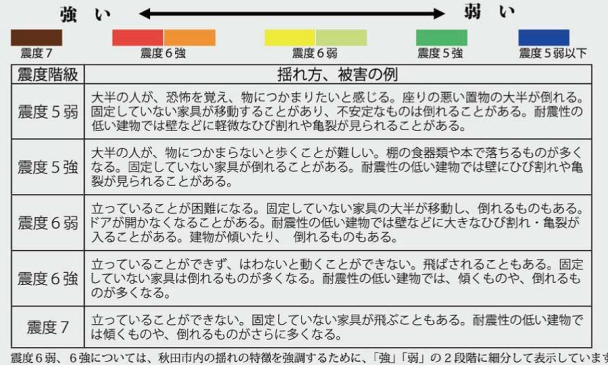
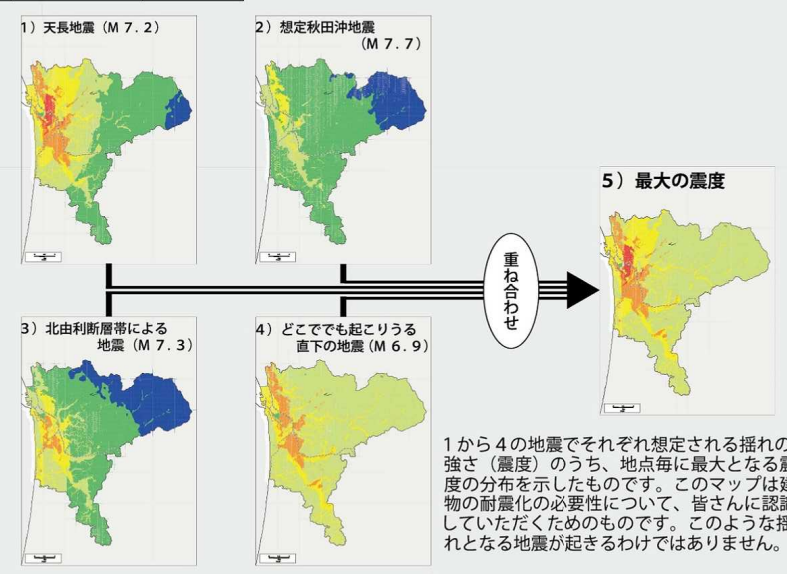
◆地震時の心得10か条

1 まず我が身の安全を圓れ		テーブル等の下にもぐり身の安全を
2 落ち着いて火の始末(あわてず冷静に)		日頃から火の周りの整理せいとんを忘れずに
3 戸を開けて出口を確保		中高層の住宅(マンション等)では出口の確保が重要
4 火が出たらすぐ消火		消火器を設置する火が出て天井に燃え移る前なら初期消火できる
5 あわてて外に飛び出さない		かわらやガラスの落下に注意する車にも注意
6 狭い路地やブロック塀には近づかない		広い場所に移動する(ガラスや看板などの落下物、落雪に注意)
7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意		山間部や海岸で強い揺れを感じたら、すぐに安全な場所に避難する
8 避難は徒歩で、荷物は最小限に		避難時には、電気のブレーカーやガスの元栓を締める
9 協力し合って救出救護		災害時の救急救助は限界があるので、みんなで助けあう
10 正しい情報を聞く余震を恐れるな		ラジオや市役所/自主防災組織から正しい情報を得て、適切な行動をとる

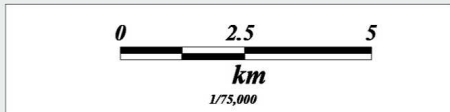


- 1 天長地震 (M 7.2) 西暦830年に今の秋田市付近で起きた地震の再来を想定しています。秋田県地震被害想定調査(平成9年)の際にも取り上げられたものです。
- 2 想定秋田沖地震 (M 7.7) 秋田県地震被害想定調査(平成9年)の際に想定された地震で、秋田沖の地震空白域に発生した場合を想定しています。
- 3 北由利断層帯による地震 (M 7.3) 文部科学省地震調査研究推進本部が想定しているもので、秋田市から由利本荘市の沿岸に沿ってほぼ南北30kmに及ぶ活断層です。この活断層を震源とする地震が起きた場合を想定しています。
- 4 どこでも起こりうる地震 (M 6.9) 近年、内陸で発生した中越地震などの被害地震の経験をもとに、防災対策上、M 6.9程度の地震は全国のどこでも直下で発生する可能性がある旨の中央防災会議見解に基づいて想定したものです。

これら4つの地震を想定した上で、秋田市の全域を約50m四方の小区画を単位に区分し、それぞれの小区画毎に震度を計算しています。さらに、小区画毎に4つの地震による揺れのうち最大となるものだけをとりだし、「5最大の揺れ」となる震度分布図(「揺れやすさマップ」)を作成しました。



- ### 凡例
- 市役所
 - 市民サービスセンター等
 - ☒ 救急告示医療機関
 - ⊗ 警察署等
 - ⌋ 消防署・出張所等
 - 緊急輸送道路(第1次)
 - 緊急輸送道路(第2次)



このマップについてのお問い合わせは、秋田市都市整備部建築指導課 ☎ 888-5769 までお寄せください。

この地図の作成に当たっては、国土院の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)及び基礎地図情報を使用した(承認番号 平22業従、第207号)